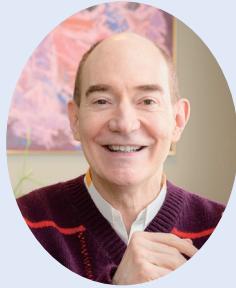


くらし塾 きんゆう塾

知るほど
金融広報中央委員会

2024
vol.67
冬



インタビュー●日本文学研究者

ロバート キャンベル

今、社会で何が起きているのかを教えてくれるのは“言葉”です

- 子どもにどう教えればいい？家庭で行う金融教育の基本
- わたしはダマサレナイ !!

テレビショッピングなどを見て電話注文したら意図せず定期購入に!?

イギリス ロンドン



02 インタビュー

- ## 07 そこが知りたいくらしの金融知識 子どもにどう教えればいい? 家庭で行う金融教育の基本

- ## 11 連載「楽しみながら備える 新・防災術」 第3回 冬こそ！ キャンプで 避難シミュレーションを

- 14 マンガ「わたしはダマサレナイ!!」
新聞広告やテレビショッピング
などを見て
電話注文したら意図せず
定期購入に?!

- ## 17 金融教育の現場レポート ～調べてみたい！作ってみたい！ 試してみたい！～ 子どもたちの「やってみたい！」を 探究していくお金の課題解決型学習

- ## 21 知るほどNEWS

動画講座「マネビタ～人生を豊かにするお金の知恵～」
先生のための金融教育セミナー

- ## 22 おたよりコーナー 漢字矢印パズル 休刊のお知らせ

- ## 23 都道府県金融広報委員会一覧 編集後記

インタビュー -

ロバート キャンベル

日本文学研究者 早稻田大学特命教授

日本文化に心惹かれ、来日してすでに38年。

さまざまなメディアで活躍するロバート・キャンベルさんは専門である日本文学はもちろん、あらゆるジャンルに造詣が深く

的確で美しい日本語で話す姿が印象的です。

知の源にあるのは、たゆまぬ“言葉”への興味。
江戸時代の古典を読みながら戦地ウクライナに思いをはせるとい

るんです。たとえば、江戸時代の国学者：もとおりのりなが本居宣長は古典についての注釈を多く書いていますが、自らもたくさん歌を作っています。彼は歌を作ることで古に近づき、肉薄し、体験をして学んだわけです。

「これは、江戸時代の文献や人々の手紙などから学んだ発想なんです。当時の学び方を調べてみると、漢詩や和歌を学ぶ場合、人々はたくさん“よむ”ことから始めます。“よむ”という言葉には、「読む」「詠む」などさまざまな漢字を当てることができ、えうどう 閱読、黙読、声に出して朗誦する、さらには、自分で和歌などを制作する“よむ”もありまます。それが全部ひと連なりになつてい

※取材は感染対策を徹底して実施しています

さらに、昔の人はこうした体験を1人では行いませんでした。特に若い人は集団で会読をしました。声を合わ

せて読むことも、体験すること、形にすることの一つです。この一連の流れが学びであり、教育であるといえます」。

朗読の大切さを多くの人に広めたいと、キヤンベルさんは、現在顧問を務める国際文学館で、定期的に

「Authors Alive!」作家に会おう」というイベントを開催しています。日本を代表する小説家や詩人、

何かを学んだら、成果として発表する」と。

それがエフェクトを生み、次のステップが現れる。

「学び」とは、まるで螺旋階段をのぼるようなものです。



文化人などを招き、自作朗読をしていただきながら、キャンベルさんと対談する企画です。事前に寄せられた質問をもとにキャンベルさんが質問を投げかけ、相手が言葉にしたことがなかつた深い思いがその場で引き出されるなど、学びを共有する喜びがあるといいます。

あらゆる場面で学びは可能 恋愛からも学べます

あらゆる場面で学びは可能

恋愛からも学べます

近世・近代日本文学が専門のキャンベルさん。改めて、なぜ昔の日本文学を研究されているのか、うかがつてみました。「昔のことを学んでいるように思っても、知識というのは、先ほどお話しした『螺旋階段をのぼる』ようなもので、ひとつにつながっていくんです。

たとえば、コロナ禍にあつた2021年、私は『日本古典と感染症』という本を作りました。実際に今起きていることと、数百年も前にあつた病の歴史を学び直してみて、私がまず思ったことは『先人も戦つたのだ。私たちは1人ではない』ということでした。この列島の中では、万葉集の時代から感染症があり、個々の人が、あるいは集団として、あるいは政治機構として、パンデミックと向き合い、乗り越えてきました。それを知り、私は何ともいえない落ちつきを得ることができました。そして、

感染症と日本文学は切つても切れない関係にあることにも気づき、それが日本文学史に深みを与えていることもわかりました」。

古典を通して現代を生きるヒントが得られるというのは、大きな発見であり、学びの大切さを改めて実感される事例です。「日常生活のなかでも、こうした気づきは得られますよ」とキャンベルさん。披露してくれたのは恋愛のお話でした。

「人間関係全般にいえることです、相手との関係性を構築するなかで、人は自分について学ぶことができます。とくに恋愛の場合、自分の言葉や行いを恋人が受け入れてくれないと不安になり、自分に何が足りないのかを考え、自分の姿を見つめ直します。だから、恋愛は失敗を含めて、自分のことを知る早道だと思うのです。

実は私も以前、恋愛で失敗したことと、数百年も前にあつた病の歴史を学び直してみて、私がまず思ったことは『先人も戦つたのだ。私たちは1人ではない』ということでした。この列島の中では、万葉集の時代から感染症があり、個々の人が、あるいは集団として、あるいは政治機構として、パンデミックと向き合い、乗り越えてきました。それを知り、私は何ともいえない落ちつきを得ることができました。そして、



日本古典からも、日々の人間関係からも学ぶことはたくさんあります。たとえば地元の言葉を覚えないと恋愛はできない、とか(笑)。

ありました。当時、私が教鞭をとつて

いた九州大学では、大学内では主に標準語が使われていましたが、大学の外に出るにつれ、土地の言葉が濃くなつ

ていくように感じていました。一方、相

手の人は常に博多弁を話す人でした。そして、何年も滞在するなかで私も博多弁を覚えていったとはい、私の話

し方や使う言葉を冷たいものとしてとらえたららしのです。私はそのとき、

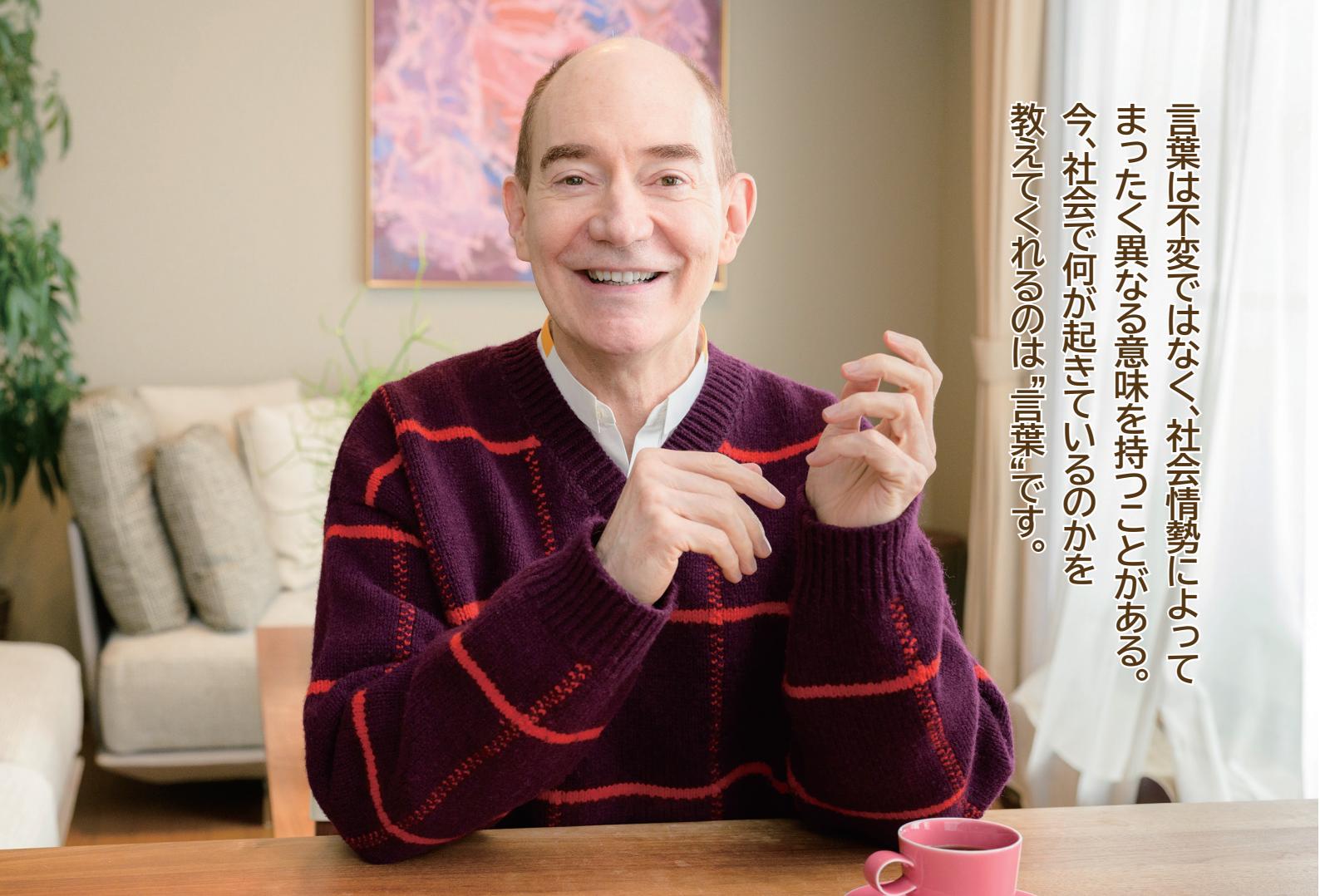
地元の言葉を習得しないと恋愛はでき

ないということを学びました(笑)。

今、社会で何が起きているのかを教えてくれるのは『言葉』です

言葉というのは、身近にあるからこそ、私たちの生活や人生に関わり、大きな影響を及ぼします。キャンベルさんは言葉を一つの軸としてさまざまな経験をし、そのたびに人生の扉を開け、道を切り拓いてきました。そして、今強く伝えたいことは、言葉は不变では

言葉は不变ではなく、社会情勢によって
まったく異なる意味を持つことがある。
今、社会で何が起きているのかを
教えてくれるのは『言葉』です。



なく、使うシチュエーションや時代により、意味や使われ方が変わっていくものだということです。政治が変わり、体制が変わると、昨日まで正しかった言葉が今日からは正しくなる。そうした現象は、今も世界中で起こっています。とくに戦争という状況下ではその現象がより顕著です。キャンベルさんは、ウクライナ侵攻の中であづられた、言葉が持つ意味を深く考えさせられる一冊の本に出会いました。

「ウクライナでボランティア活動をしているオスタッフ・スリヴィンスキーサンという詩人がいます。彼はリヴィウという町の中央駅で、全国から逃げてくる避難者のお世話をしながら、彼らがここに来るまでに体験した悲惨な出来事をつぶさに聞き、独白という形式で書き起こし、Facebookに上げています。一つひとつの話の中には必ずシンボリックなものが登場し、それが文章のタイトルになっています。たとえばココア、鍵、パン生地、手紙など。最終的に77の証言がまとまり、彼はそれをアルファベット順に並べて一冊の本にしました。初めて読んだとき、私は『これはすごい。報道とはまったく違うウクライナの現実がつづられている』と感じました。ぜひ日本語に翻訳したいと思い、スリヴィンスキーサンに連絡を取って、対話を重ね、翻訳の許可を得ること

ができました」。

ウクライナで何が起きているのか 戦争の真実を伝える貴重な本

『戦争語彙集』というタイトルを冠したこの本には、戦争が言葉の意味を180度変えてしまう実例が数多く紹介されています。たとえば、戦争以前、村に住む若い女性にとつて”きれいなこと”、例えばきれいな服を着て外出することは嬉しいことでした。しかし、ロシア兵に侵略された今、きれいに着飾ることは、彼らの暴行を受けかねない危険な行為になりました。あるいは、若いとき肌に稻妻のタトゥーを入れた女性は、その形がナチス・ドイツの親衛隊SSのマークに似ていると指摘されたことから、「ロシア兵に見つかったらウクライナ国粹主義者だと誤解され、射殺されてしまう」とおびえています。若気の至りで入れた、楽しい青春の思い出のタトゥーが、今は自分を危険な目に遭わせる忌まわしいものになってしまったのです。

「完全に価値が逆転した、という証言が、この本の中にたくさん出でます。戦争によって言葉の意味が捻じ曲げられたことを断面図としてとどめる、とても貴重なドキュメントです。この本の中の言葉には、比喩もレトリックもありません。この先、もしもまた悲惨な

状況を招きかねないとき、言葉がどうあるべきかということを、当事者たちのむき出しの言葉を読みながら、私た

からさまざまなイメージや意味を見出しができました。大変貴重な体験だつたと思っています」。

自分の意志で行動するとき
バックアップしてくれるのがお金

人生100年時代といわれていますが、キャンベルさんがこれから大事にしていこうと思っていることは、「健康と良好な人間関係、そしてやはりお金でしょうね」。

「自分の備えとして、換金性が高く、何かあつたときに使える資金は必要です。また、不動産など資産を持つと、

るためにどんな言葉を使っているか、という部分が、私の中ではちゃんとつながっているんです。学びを深めていくと、おのずと異なるベクトルや扉が現れます。私のエッセイには、紀貫之や永井荷風、原民喜なども登場します。大事なのは、日本古典文学を、今のウクライナ侵攻に掛け合わせたとき、何が見

えてくるのか、という態度で読むことだと思います。そして、この本をきづかげに、日本の古典への入り口を見出す読者もいるかもしれません。それも望ましいことです。私自身、今お話をしたような文脈で、実際にウクライナの景色を見て、日本に帰ってきたときに古典を読み直したところ、異なる角度

など、社会全体に目を向けた、若い人たちがスタートアップしているような会社はいいかもしれません。私がエンジニア投資家^(注)になることはできませんが、責任ある立場で若いたちのイノベーションをサポートしていくファンなどには、興味があります。でも、そればかりでは少々不安になりますから(笑)、

もちろん、自費出版ではないので、その部分ではお金はかかりませんが、現地取材にかかるお金は自腹です。学術研究をする際には、日本学術振興会の科学研費補助金を申請できるのですが、今回のウクライナ行きは該当しません。仮に申請が通ったとしても行けるのはポーランドまで。ウクライナに



プロフィール

ロバート キャンベル

ニューヨーク市生まれ。日本文学研究者。早稲田大学特命教授。早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブライアリー）顧問。東京大学名誉教授。近世・近代日本文学が専門で、とくに19世紀（江戸後期～明治前半）の漢文学と、それにつながる文芸ジャンル、芸術、メディア、思想などに関心を寄せて いる。主な編著に『日本古典と感染症』（角川ソフィア文庫）、『よもうつかわ（上・下）』（淡交社）、『戦争語彙集』（岩波書店）など。

注 創業して間もない企業に出資をする個人投資家

は入れないんです。それでも行きたい
と思った私は、自費でウクライナに行つ
たのです。2週間余りの滞在のなかで、
現地の人の貴重な言葉を聞くこともで
きましたし、LGBTの人たちのシェル
ターを訪ねて、少しですが寄付もしま
した。誰にも頼まれずに自分の責任と
判断で行動を起こし、寄付までできた
のは、本当にありがたいことだったと思
います。何かをなすとき、自分の意志
で行動したいとき、お金は大きなバッ
クアップになる。だからこそ大切に守
り、必要に応じて使うことが大事だと
痛感しました」。

は入れないんです。それでも行きたいと思った私は、自費でウクライナに行つたのです。2週間余りの滞在のなかで、

バランスをとって、テトリスのようなイメージで組み合わせ、うまく資産を運用できたらいいのかなと思います」。

持ち、備えていたキャンベルさんが、最もお金に対してもしっかりと計画性を



子どもにどう教えればいい？ 家庭で行う金融教育の基本

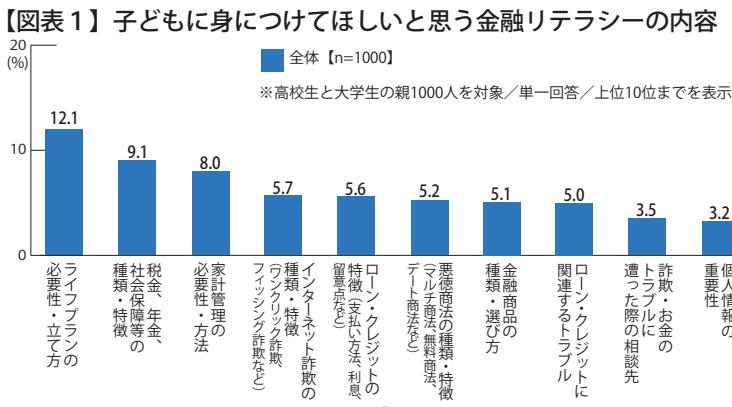
キャッシュレス決済やネットショッピングの浸透、成年年齢の引き下げなど、お金をめぐる環境にさまざまな変化が起きていく今、これまで以上に子どもへの金融教育が求められる時代となりました。そこで今回は、家庭でどのように金融教育を進めるか、考へてみましょう。

た、働き方も多様化し、時間や場所を問わず買い物ができるネットショッピングの利用が増えています。

このように支払いや買い物が便利になる一方で、子どもが現金のやりとりをする機会が減り、金銭感覚を養うことが以前より難しくなっているのが実情です。また、若年層のお金のトラブルも増加しています。2022年4月に成年年齢が引き下げられ、18歳になると親権者の同意がなくても契約ができるようになりました。

高校生と大学生の親1000人を対象にした「金融リテラシーと家庭の金融教育に関する調査2023」によると、子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシー1位は「ライフプランの必要性・立て方」ですが、4位以下は「インターネット詐欺の種類・特徴」「ローン・クレジットの特徴」「悪徳商法の種類・特徴」となつており、

若年層のお金のトラブルが増加する中で、きちんととした知識を持つてほしいという親の意向が見て取れます【図表1】。



(出所) SMBCコンシューマーファイナンス「金融リテラシーと家庭の金融教育に関する調査2023」を基に監修者作成

(注) QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

子どもに求める金融リテラシー
金融トラブルへの懸念も背景に

子どもに対するお金の教育は、元より非常に大切なことです。電子決済の浸透や家庭環境の変化などに伴い、

その必要性がますます高まっています。

現金中心だった日本の支払い方法は、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済（注）などのキャッシュレス決済へとシフトしています。ま

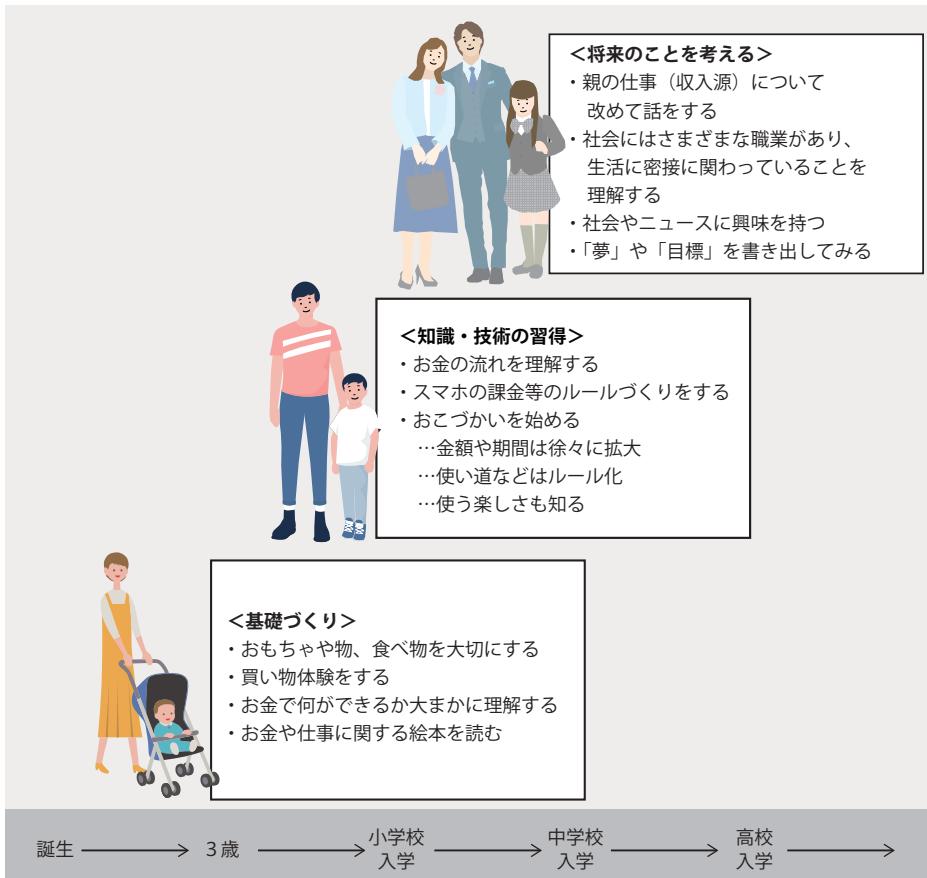
で、働き方が多様化し、時間や場所を問わず買い物ができるネットショッピングの利用が増えています。

このように支払いや買い物が便利になる一方で、子どもが現金のやりとりをする機会が減り、金銭感覚を養うことが以前より難しくなっているのが実情です。また、若年層のお金のトラブルも増加しています。2022年4月に成年年齢が引き下げられ、18歳になると親権者の同意がなくても契約ができるようになりました。

高校生と大学生の親1000人を対象にした「金融リテラシーと家庭の金融教育に関する調査2023」によると、子どもに最も身につけてほしいと思う金融リテラシー1位は「ライフプランの必要性・立て方」ですが、4位以下は「インターネット詐欺の種類・特徴」「ローン・クレジットの特徴」「悪徳商法の種類・特徴」となつており、

子どもに対するお金の教育は、元より非常に大切なことです。電子決済の浸透や家庭環境の変化などに伴い、

【図表2】金融教育は成長や理解力に応じて段階的に行う



(出所) 監修者作成

家庭での子どもの金融教育は成長や理解力に応じて段階的に

学校での金融教育に関しては、小

学校は2020年度から、中学校は2021年度から、高等学校は2022年度から新しい学習指導要領が実施されており、金融教育の内容はより拡充されました。とくに高校では、

家庭での子どもの金融教育は成長や理解力に応じて段階的に

資産形成の視点にも触ながら、生涯を見通した経済計画の重要性について理解できるようにする、との内容が盛り込まれています。

一方、学校任せにすることなく、家庭で保護者が子どもに教えていくこともより大切になってきます。3歳ごろから小学校の低学年くらいにかけては、おもちゃや物を大切にする、保護

者や周囲の人への感謝の気持ちを持つ、約束を守るといった基本的な行動や態度を養うことが、金融教育の第一段階です。

なお、ここでは小学校低学年、中学年など年齢層毎に区切ってご紹介していますが、子どもの成長や理解力に合わせて順次伝えていけばよいでしょう【図表2】。

小学校低学年からはお金の流れを理解してもうう

第一段階での基礎づくりが終わったら、次は大まかなお金の流れを理解してもらいましょう。

子どもが現金に接する機会が減り、金銭感覚が希薄化する懸念についてお伝えしましたが、実際に、「お金は ATMからいくらでも引き出せる」と思い込んでしまっている子どももいるようです。また、店舗で親が買い物をしようとしたら、子どもが「お店で買おうお金が減るから、ネットで買つたほうがいいよ」と言つたという話もあります。

このように、小学校低学年から中学年の中では、裏側の仕組みにまで理解が及ばず、目の前で起きていることを鵜呑みにする傾向があります。小学校に入ったころから、お金はどこから

得られ、どう使われるのかなどの流れを、少しずつ話していくのが金融教育の次のステップといえます。

まずは、子どもと一緒に買い物をし、大人がお金を支払う場面を子どもが見る機会を増やすとよいでしょう。とともに、①銀行にお金が入るまでの過程（親や保護者が働いた対価が給料である）、②お金を支払うということの意味（ネットショッピングでもお金は減っている）、③現金とクレジットカードの違い、といった基本的なことを説明していくとよいでしょう。その際、子ども向けのお金の絵本やアニメなどを活用するのも一つの方法です。

中には、「子どもには、あまりお金の話はしたくない」と無意識に思っている人がいるかもしれません。しかし、お金の価値がわからないことが、後に大きなトラブルにつながる可能性もあります。たとえば、子どもがスマートフォンアプリに数十万円単位で高額課金し、あとで請求を見た保護者が驚くという例も耳にします。しかし、気づかない内にキャッシング決済で少し使い過ぎてしまつた、といった「小さな失敗」

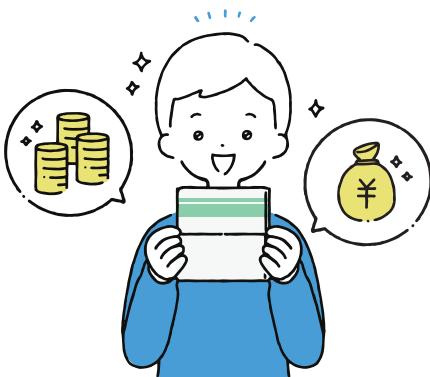
また、お金のトラブルを恐れて、子どもにスマートフォンを持たせるのをためらう、お金を一切持たせないといった事例も耳にします。しかし、気づかない内にキャッシング決済で少し使い過ぎてしまつた、といった「小さな失敗」

を、早い時期に子ども自らが経験することが、その後の金融行動の大きな糧となることもあります。大人が子どもが過度に恐れず、少しづつお金の経験をさせていく勇気を持つことも大事です。

小学校中学年からは 一定金額を管理させてみる

小学校中学年になると、子どもたちだけで遊びに出かけたり、塾や習い事に行ったりするようになります。友達との関係性が強くなり、趣味や遊びで影響を受けたり、友達の持っているものを自分も欲しがったりといった行動が目立つてくる時期でもあります。

だからこそ、「たとえ仲の良い友達同士でも、お金の貸し借りや、おごつ



たりおこづかれたりはNG」と伝えることが大切。友達との関係が悪くなったり、相手のお金を当てにする癖がついてしまうこともあります。

また、この時期からおこづかいを渡し、子どもがお金を管理する能力を磨いていきましょう。自分で使えるお金を手に入れて、お金を使うことの楽しさを学ぶのもよい経験ですが、ただ使うだけでは金銭感覚を養うことはできません。この時期から、「使ってよいお金には限りがあること」を理解させていくことが大切です。

今、自分が買いたいと思っているものは本当に必要なものなのか、友達が持っているからという理由で、必要なものを欲しがっているだけではないのか、といった「ニーズとウォンツ」の関係も教えていくとよいでしょう。

おこづかい大切なのは、計画的にお金を使う方法を知つてもらうことです。そのためにおすすめしたいのは、「貯めるお金」、「使うお金」、「人のために使うお金」、「増やすお金」と、4つの貯金箱にお金を振り分けるという方法です【図表3】。貯金箱はジヤムの空き瓶などで手作りしたもので十分です。

おこづかいの一部を残して「貯め

るお金」に振り分け、コツコツ貯めていけば1ヶ月のおこづかいでは買えないものも手に入れることができます。本当に必要なものや欲しいものは、「使うお金」に振り分けて買うとよいでしょう。「人のために使うお金」は、自分以外の誰かのためにお金を使うことの大切さを学ぶことにつながります。「増やすお金」については、お金は増やすこともできるということを教え、本人が興味を持てば、保護者の協力のもと利息を付けて渡してあげるとよいでしょう。このように振り分けて使うことは、大人になってからもお金の管理に活かすことができます。

また、おこづかいを渡す際には、お金を使う予定を子どもと話し合い、おこづかい帳を使って記録し、月末に振り返りを行うと、管理能力が身につきやすくなるでしょう。

【図表3】「4つの貯金箱」でお金を管理する

貯めるお金	使うお金	人のために使うお金	増やすお金
<p>少ないおこづかいでもコツコツ貯めると大きな金額になります。将来のため、いざというときのため、大きな買い物をするためにも貯金をすることは大切です。</p>	<p>お菓子や飲み物、おもちゃ、文房具など、自分の欲しいものや必要なものを買うお金です。やみくもに使うのではなく、「ニーズとウォンツ」を意識して使うようにしましょう。</p>	<p>社会は支え合いで成り立っています。自分も社会の一員であることを学ぶため、家族や友人へプレゼントをして日ごろの感謝を伝えたり、寄付や募金などにお金を回したりしてみましょう。</p>	<p>お金を預けたり投資に回すと、増やすことができます。お年玉などまとまったお金をもらったときに、保護者が一定期間預かり、利息を付けて子どもに戻す方法も、仕組みを理解するのに役立ちます。</p>

(出所) 監修者作成

で
し
ょ
う

おこづかいの管理がある程度身につくまでは、増減を目で確認できる現金で渡すほうがおすすめです。キャッシュレスで渡す場合は、現金をチャージす

るところを子どもに見せ、その後は定期的に残高などを確認するようにしま

しょう。QRコード決済であれば、基本的には残高や利用履歴はいつでも確認できますし、電子マネーの残高や利用

履歴を確認できるアプリもあります。

中学生以上の子どもには 生活費の実態を理解してもう

中学生以上になつたら、実際に生活していくのにいくらお金がかかるのかといったことを理解するステップに入りましょう。場合によっては、家計の収支をざつくり話すのもよいかもしれません。家計の費目に分けて、食費が7万円、住居費が10万円など、大体どのくらいお金がかかるのかを話し合ってみます。入つてくるお金（収入）に限りがある以上、出ていくお金（支出）もそれに合わせる必要があることを、具体的な数字で理解してもらうのです。

親の仕事（収入源）や、世の中にはいろいろな職業があることを話すことは、社会や将来に目を向ける良い機会になります。とくに高校生になつたら、働いてお金を稼ぐこと、稼いだお金を生活や自分が手に入れたいもののために使うことを、より具体的にイメージできるようになるとよいでしょう。

このころには、アルバイトをして収入を得る子どもも出てくるでしょう。労働を通してお金の価値を再認識する機会になり、社会勉強にもなります。ただし学生の間は学業が優先なので、時間の使い方については家庭内であら

かじめよく話をしましょう。大学進学を考えている家庭では、「奨学金」についても調べてみましょう。奨学金は子ども自身の借金になるため、返済の見通しも含め、子どもとよく話し合うことが大事ですが、高校時代の成績などにより、無利子もしくは返済不要の奨学金を利用できる可能性もあります。

家庭での金融教育は、子どもの人生に大きな影響を与えます。計画的にお金を準備することで、夢や目標を実現できるということが学べます。また、お金の大切さを知ることで、自分が経済的に自立すること、充実した暮らしを送ることのイメージも湧きやすくなるでしょう。それが、その後の職業選択やキャリア形成にもつながっていくきます。お金の実体が見えにくくなっている時代だからこそ、早くから子どもへの金融教育を進めていくことが大切です。

子ども向けのお金のコンテンツを活用しましょう！

知るほどには、子ども向けコンテンツも多数用意されています。
家庭で子どもに教える際にぜひ活用してみてください。

★キッズページ

園児や小学生向けのページ。人気動画「ホシガリ姫の冒険」や楽しみながら学べる「おかねのね」「こどもクイズ」などが掲載されています。



★作文・小論文コンクール

中学生を対象とした「おかねの作文コンクール」、高校生を対象とした「高校生小論文コンクール」の入賞作品が紹介されています。

ご家庭でも役立つ金融教育のヒントが見つかります。



★動画講座「マネビタ」・「18歳までに学ぶ 契約の知恵」

高校生くらいになつたら、これらの教材を子どもに紹介して、成人になる前に自分で見る・読むように勧めるといよいです。短時間で基本的な知識を学ぶことができます。



★「学校における金融教育の年齢層別目標」

家庭で子どもにお金の教育をする前提として、学校ではどのようなことが教えられているか、保護者として知つておるのはいかがでしょうか。



監修

八木陽子（やぎ・ようこ）

一级ファイナンシャルプランナー技能士、CFP®、キャリアカウンセラー（CDA）、キャリアコンサルタント（国家資格）。出版社勤務を経て独立後、マネー記事の執筆やプロデュース、セミナーなどの仕事を手がける。2005年に親子でお金と仕事を学ぶ団体「キッズ・マネー・ステーション」を設立。

かじめよく話をしましょう。

アウトドアのスキルが役に立つ

楽ししながら備える 新・防災術

3

地震や豪雨などの自然災害が増えています。

あなたの備えは万全ですか？

キャンプの知識と道具、技術を持っていれば、いざというときも無理のない避難ができます。

とはいえ、慣れていないと役立てるることはできません。

寒い季節にこそキャンプを楽しみましょう！

アウトドアライフアドバイザー

寒川 一

冬こそ！ キャンプで 避難ミニコレーシヨンを

なぜ冬にキャンプをする
すすめるその理由とは？

冬にキャンプというと意外に感じる人は多いかもしれません。確かに、キャンプは夏にするものというイメージがあると思います。けれども私が冬キャンプをおすすめするにはいくつかの理由があります。

まずは、近年の気候の変化です。いまや夏の猛暑・酷暑は野外で過ごすには危険なレベルになっています。北海道や避暑地とされる高原でも、昼間は30度を超えます。慣れないキャンプで体調を崩してはいけません。暑い時間も長くなり、春や秋らしい気候の時期はごくわずか。それに対して寒い時期は11月頃から3月頃までたっぷりあります。しかも夏よりもすいていて静かです。近年は冬キャンプ人口が増え、冬場もオープンしているキャンプ場も増えています。

また蚊やアブなどの害虫がいません。夏は熱くて近寄りたくない焚き火

も、寒い季節ならじっくり楽しめます。景色は澄んで見え、空気が乾燥している雨が少ないのも利点です。

さらに、キャンプ道具や山道具は基

本的に、体温を維持して身体の安全を守れるよう“暖かく過ごすため”に作られた素材や道具も、今はかなり充実しています。衣類や寝袋などのほか、暖を取りたり調理したりできるストーブも、薪・灯油・カセットボンベなどさまざまな熱源のものが出ています。中には、ポータブル電源やキャンプ場の電源を使い、電気毛布やコタツを持ち込む人もいます。

そして、私が冬キャンプをおすすめする最も大きな理由は、災害はどんな



キャンプ用ストーブにはさまざまなタイプがある

季節に起きたるかわからぬことです。

寒さ対策などの工夫や備えが必要な、ある程度の悪条件下でのキャンプを経験することで、避難時にも落ち着いて対応できるはずです。そうして少しずつスキルを積んでいけば、季節を問わずどう対策して楽しめばよいかもわかつてきます。

その意味では雨の日キャンプを体験しておくのもおすすめですが、雨水対策で楽しさが半減するのは否めません。最初のうちは晴れ予報の日を選びましょう。また雪中のキャンプも面白いのですが、これも、行き帰りの大変さや吹雪の危険を思えば、相当慣れからにしたほうがよいと思います。

冬ならどんなキャンプ場、どんな装備を選ぶべき？

初めて冬キャンプに行くなら、まずは標高が低い平地を選んでください。

山間部の川沿いのキャンプ場は冷え込みます。富士山麓などでは冬場の夜間はときにマイナス10度以下になり、装備が不十分だと危険。海に近いほうが暖かいです。管理者が常駐していて、トイレ、シャワーなども整備されているところが安心でしょう。



身体を温めるだけでなく、心も落ち着かせる焚き火

むため、想像以上に寒くなります。持つて行けるなら、衣類の1枚でも2枚でも余分に用意しましょう。たとえ使わずに済んでも、無駄な荷物だつたと考へてはいけません。たまたま、使わずに済んだだけなのですから。

冬の野外では、とにかく体温を維持することが重要です。そのため、衣類はレイヤード（重ね着スタイル）が基本となります。

アンダーウエアは汗冷えしないウールや速乾性の合成繊維がおすすめ。綿は汗で濡れると乾きにくく、身体を冷やすので、夏以外は避けましょう。その上に空気層を作るフリースや薄手のダウンを重ねます。そしてアウターワーとして風雨をシャットアウトしつつ内部の温度を保持する、透湿性（生地の内側から外側へ水分を逃がす性

キャンプ場での設営や過ごし方はどうするの？

キャンプ場に到着したら、まずは居場所作りです。周囲に樹木があるなら、虫やキノコに寄生されて朽ちていかないかよく観察して、倒木の危険を避けます。地面がなるべくフランクであります。土にテントやタープのペグ（杭）を打ち込みやすいかどうかも確認しましょう。ペグを固定しづらい場

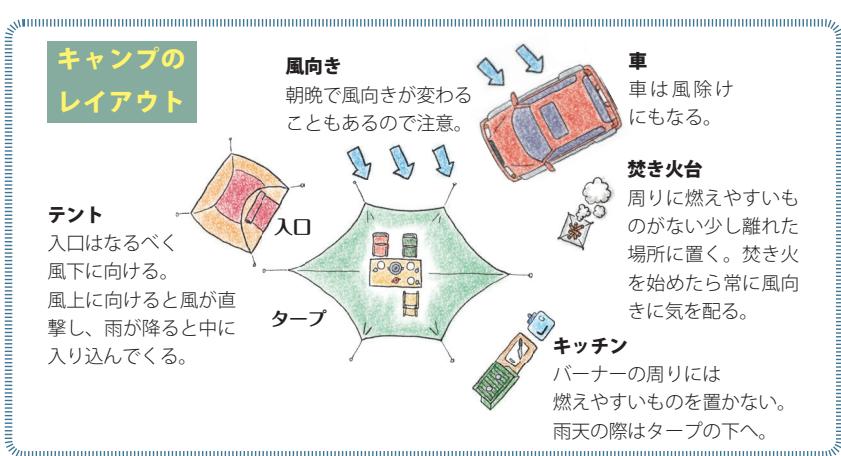
質）のある撥水性ジャケットを着ます。この3枚は年間を通しての基本。暑ければ上から脱ぎ、足りなければワールのセーターなどを足します。

そして身体を温めるポイントとして3つの首があります。皮膚が薄く、太い血管も通っている首・手首・足首です。この3つをネックウォーマーや長めの手袋、ウールの厚手靴下などで保護を。夏は逆に、これら3カ所を冷やすとよいでしょう。

寝袋にオールシーズン対応のものはありません。夏用と冬用の2種があれば極寒では重ねて使って理想的ですが、1つだけ持つなり冬の明け方の気温に対応できるものを。暑い時期は、マットなど地面の温度の影響を避けるものがあれば寝袋なしでも眠れます。

キャンプのレイアウト

所では大きめの石やブロックなどにロープを結びつける方法もあります。焚き火をする方向、風向きなども見て、テントや、リビング・ダイニングの日除けや雨除けとしてのタープの位置を決めます。例えば風がテントの入り口に向けて吹き込むと居住性はぐつと落ちます。自分の一軒家を建てるくらいの気持ちで配置を考えるのもキャンプの醍醐味の一つです。失敗し



てもいいのです。それは自然の力に負けたということ。笑い話として次に生かせばいい。自分の知恵を総動員して自然と向き合つことが経験値になります。

リビングは焚き火のそばに作りますが、周りに何もないと火の熱は逃げます。焚き火の向こう側に薪の山や耐火シート、風防板を設置する、あるいは少し離して車を停めるなどの工夫で熱が反射するようになります。暖かさは大きく増します。

遊びのキャンプでも避難時でも、燃料の確保は重要な問題です。いざというときのために予備のカセットボンベなどを用意している人も多いでしょう。一般的に3本セットで400円弱で買えるカセットボンベは、とても便利なものです。3食の煮炊きに毎回使ってしまうと、1本あたり1.5日～2日ほどしかもちません。しかし、この3本セットを1カ月もたせる方法があります。身に付けるべき技術は焚き火です。

キャンプ場でも火が焚けるような避難先でも、雨天でなければ、カセットボンベの代わりに周辺の小枝・枯れ枝、割り箸、牛乳パックなどを熱源にして湯を沸かし、煮炊きします。着火用にマッチやライター、着火剤などを用意しておきましょう。日本では年間平均で、雨が降るのは1週間に2～3日です。雨の日はカセットボンベを使い、合い間を見て自然界の燃料を集めて雨の当たらないところに確保しておきます。そのように2つの熱源を天候によって使い分ければ、3本のカセットボンベを何とか1カ月もたせることができます。さらに、焚き火の周りを風防具で囲んだり、冬には保温用ボンベカバーなどを付けることで、カセットボンベの燃焼効率もいっそうよくなり、長持ちします。

また、キャンプ場では薪を売っています。だいたいは針葉樹と広葉樹で分けてあります。針葉樹は油分が多く、火がつきやすく、燃え尽きるのも早いです。広葉樹は水分が多くて火がつきにくい反面、長くゆっくりと燃えます。針葉樹のほうが安く販売されていますが、それだけではすぐになくなってしまいます。広葉樹だけでもうまく燃えません。両方を組み合わせ、小さな火を維持するようコントロールすることで、薪代は格段に抑えられます。もしも周辺から拾える枯れ枝などもあれば、ぜひ活用を。



キャンプの食事といえばバーベキューが一般的ですが、冬のおすすめは鍋物。ポトフ→翌朝はルーを入れてシチュー→昼はパスタで鍋掃除とか、おでん→シーフード風味のカレー→カレーうどんといったやり方なら、身体が温まり、洗い物も少なくなります。鍋や食器などは少量の湯をかけてキッキンペーパーなどで拭けば洗い場に通う必要もありません。調理に必要な最低限の水しか使わずにすみ、汚水も減らせます。これも、災害時に飲料

水の不足や排水管の被災などの事態に直面したときに、役に立つスキルだと思います。

最後に、冬キャンプを快適に過ごすための3つの小さなスキルをお伝え



いろいろなシーンで使える樹脂ボトル

寒川 一（さんがわ・はじめ）

1963年香川県生まれ。災害時に役立つアウトドアの知識をキャンプ体験、防災訓練、書籍などを通じて伝えるアウトドアライフケアバイザー。北欧やアメリカなど各国のアウトドア文化に触れ、アウトドア製品輸入商社のアドバイザーも務めながら、防災×キャンプのさまざまなワークショップも行っている。著書は『新時代の防災術』『「サボる」防災で、生きる』など多数。



これまでキャンプに縁のなかつた方々にも、防災の視点をきっかけとして、アウトドアの面白さにぜひ親しんでいただければと思います。

せこのうえなし！寝ながら足で「即席湯たんぽ」をぐろぐろさせて暖まるのも、冬ならではの楽しみです。

しましょう。1つめは、寝るときは靴はテントの中へ。凍つたり冷え切つたりするのを避けるためです。2つめは、脱いだ服は寝袋の中へ。それで翌朝はほかほかに暖かい状態で着られます。そして3つめ。アウトドア用品店などでは100度以上に耐える樹脂ボトルを売っています。これに熱湯を入れて靴下などでカバーし、寝る数十分前に寝袋の中へ。ほかほかして幸せこのうえなし！寝ながら足で「即席湯たんぽ」をぐろぐろさせて暖まるのも、冬ならではの楽しみです。

わたしは



ATTENTION

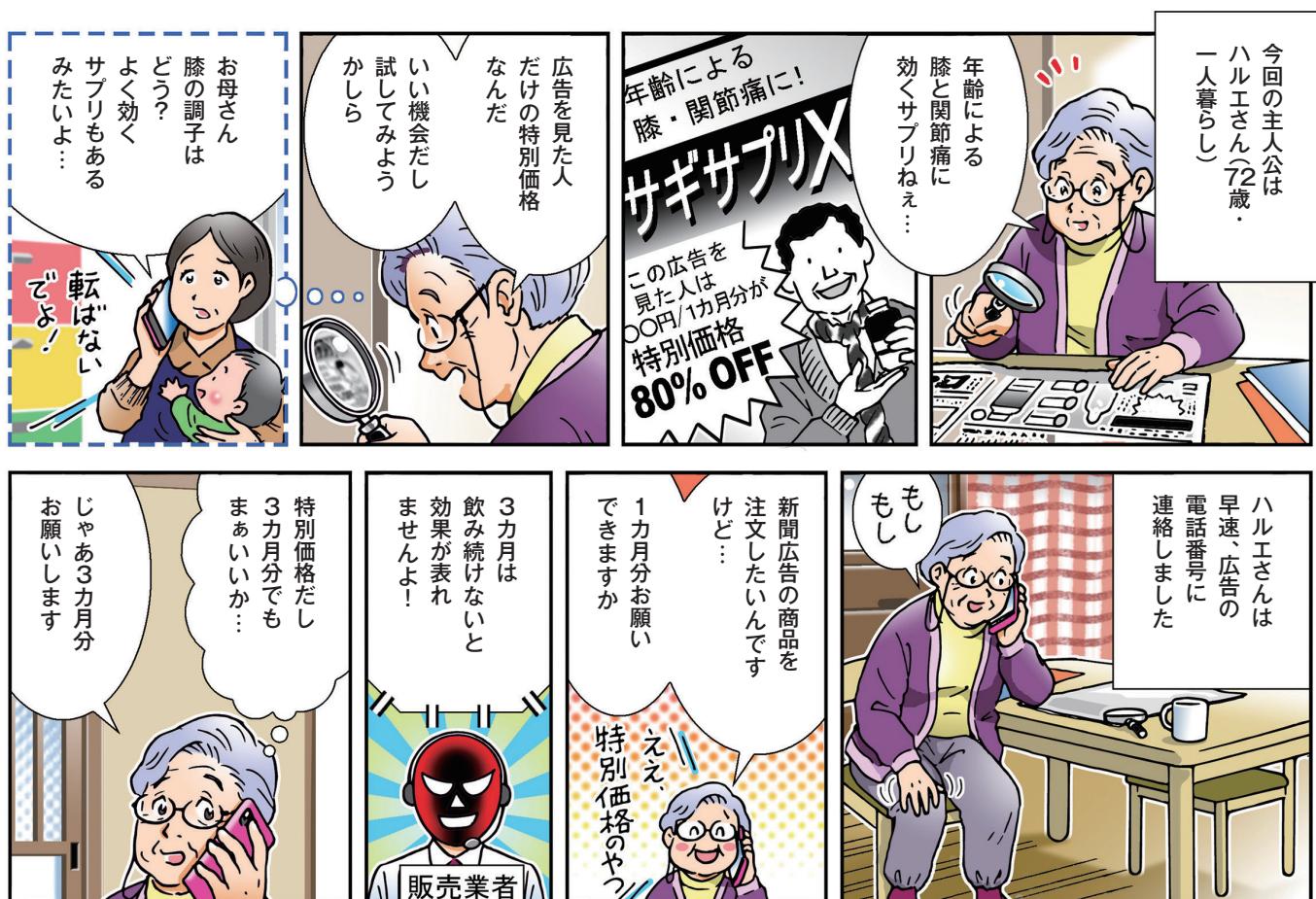
ダマサレナイ!!

第63話

新聞広告やテレビショッピングなどを見て
電話注文したら意図せず定期購入に!?

このコーナーで紹介するマンガは、実際に起きた事件を基に、「だましのシーン」を再現したものです。
「私だけは大丈夫」なんて甘く考えていませんか？ 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。

監修／NACS（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会）消費者相談室：岡本由美 マンガ／まきのこうじ



■事例①

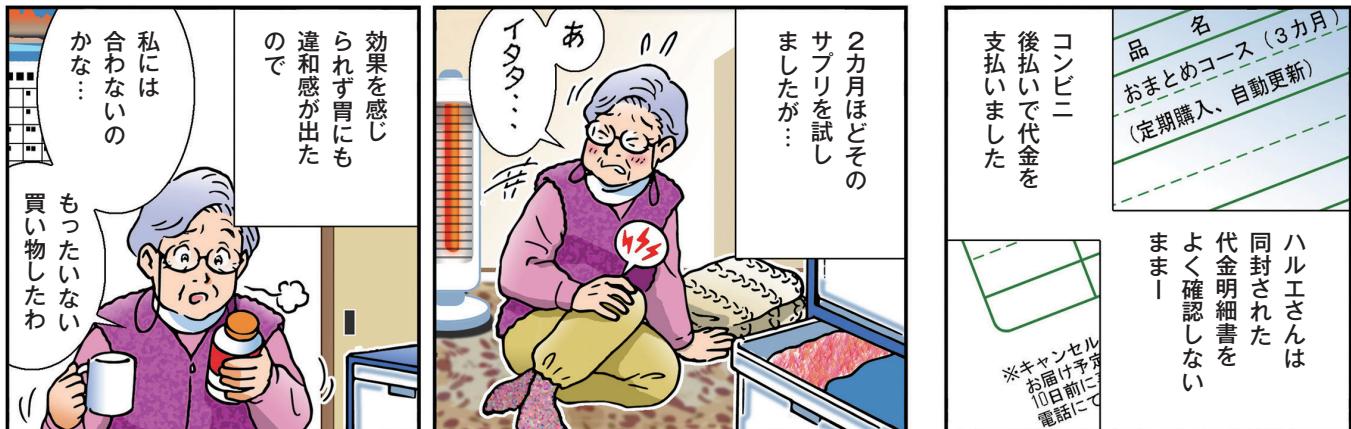
美容液の雑誌広告を見て注文の電話をした

このトラブルの特徴は、消費者が新聞広告やテレビショッピングなどで紹介された商品を注文するために販売業者に電話をすると、販売業者から「おまとめコースがお得」、「お試し商品と一緒に送る」などと言って、広告等に記載のないサービスや商品を勧めてくることです。突然の勧誘でしつかり検討する時間がない消費者は、販売業者から十分な説明がなされないまま承諾してしまい、意図しない定期購入の契約等をさせられてしまいます。

POINT! 2 広告等に記載のない サービスや商品を勧誘

通信販売（以下、通販）で、消費者が意図していない定期購入の契約をさせられたトラブルの相談件数は、2022年に過去最高の7万5000件超（消費者白書2023年版）となり、現在も全国の消費生活センター等に多くの相談が寄せられています。相談の多くがインターネット通販によるものですが、新聞広告や雑誌広告、テレビショッピング、カタログなど電話注文による通販でのトラブルも少なくありません。相談者の多くは60歳以上の高齢者となります。

POINT! 1 高齢者に多いインターネット通販 以外の定期購入トラブル



ところ、「3ヵ月使わないと効果が出ない。おまとめコースがお得」と説明された。3ヵ月分の商品がまとめて届くコースと思い注文したが、最初に商品が届いてから3ヵ月後にさらに3ヵ月分の商品が届き、納品書を見て定期購入になっていることがわかった。

■事例②

拡大鏡の半額セールを新聞広告で見て電話で注文。販売業者から「目によいお試しの健康食品も送る」と言われ、拡大鏡はプレゼントで、健康食品の請求になっていた。支払い額は変わらなかつたので気にしないでいたが、1ヵ月後に健康食品がまた届いた。請求書をよく確認すると、健康食品の定期購入契約になつていた。

POINT! SAGI 3 特定商取引法の改正で クーリング・オフの対象に

こうしたトラブルを避けるには、電話注文時に販売業者から広告等に記載のないサービスや商品、複数月分の商品が必要などと勧められても、興味がなければきっぱり断ることが大切です。興味を持つた場合でも、そのサービスや商品が定期購入になつていなかなごと、購入条件やキャンセル方法をしつかり確認し、いったん電話を切つて慎重に検討することをお勧めします。購入条件などの内容を十分に理解できなければ断りましょう。

通販はクーリング・オフ（無条件での契約



關連情報

- ・国民生活センター
「テレビショッピングなどをみて電話で注文したら、意図せず『定期購入』に!?
-『サンプル』『おまとめコース』などを勧められても要注意!」
https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20221130_2.pdf

解除）の対象外ですが、2023年6月に特定商取引法の改正施行令が施行され、テレビCMや新聞、チラシ、WEBサイトの広告を見て消費者が電話注文した際、事前に触れられない商品やサービスなどを勧誘された場合は「電話勧誘販売」に該当し、クーリング・オフができる場合があります。消費者が契約書を受け取っていなければ、クーリング・オフはいつでも可能です。不備のない契約書を受け取っている場合は、クーリング・オフ期間は8日間であり、期間が過ぎると原則クーリング・オフができません。また、健康食品や化粧品などの消耗品は、消費した分のクーリング・オフができないことを記載した書面を消費者が受け取っている場合、消費分のクーリング・オフはできません。商品が到着したら、同梱されているあらゆる書面を必ず確認してください。

高齢者の消費者トラブルを防ぐには、家族や周りの人の見守りが必要です。高齢者は定期購入をうまく解約できずに放置している場合もあるので、注意して見てあげてください。トラブルが生じたら消費者ホットライン188にすぐに相談しましょう。



(出所) <https://www.ritsumei.ac.jp/primary/summary/info/>



立命館小学校
学校法人立命館 起業・事業化推進室
教育プロデューサー
正頭英和教諭

ICT活用や課外活動などで 革新的な授業を行う私立小学校

立命館小学校は、鴨川の清流と山々が連なる豊かな自然の中、金閣寺はじめ多くの文化財が集積する京都市北区にある私立小学校です。二つの大学、四つの高等学校、四つの中学校を有する立命館学園に属する唯一の小学校として、2006年に開校しました。

小中高一貫教育を提供し、各学年4学級で約720名の児童が在校しています。

この学校の大きな特色として、開校

子どもたちの「やつてみたい！」を 探究していくお金の課題解決型学習

～調べてみたい！ 作つてみたい！ 試してみたい！～

今回は、立命館小学校で5、6年生が取り組むICT科を担当する正頭英和教諭（以下、正頭先生）の金融教育活動を紹介します。正頭先生は2019年に、当時担当していた英語科の授業でゲームのマインクラフトを活用した課題解決型学習が評価され、教育界のノーベル賞と呼ばれる「グローバルティーチャー賞」のトップ10に選出されました。学校の内外で、金融教育をはじめ幅広い教育活動を行う正頭先生に、金融教育活動の具体的な内容や効果的な学習方法、小学校で金融教育を行う意義などをうかがいました。



正頭英和教諭

「自分のがつてみたいことをかなえていこう」という探究プログラムについています。有志で集まった6年生12名が、それぞれ自分で決めたテーマを

当時からのICTを活用した教育活動があげられます。1年生からプログラミングの考え方やスキルを身に付け、マインクラフト教育版や、キャラクターを動かしながらプログラミングできるツールなどを活用した革新的な授業を行っています。ICT科を担当する正頭先生は、マインクラフト教育版を活用した授業についてこう説明します。

「京都の歴史を学びつつ、約5名のチームで仮想空間に世界遺産の建物などを作っていきます。海外の学校の子どもたちに向けて、英語でプレゼンテーションすることがゴールです。みんなで考え、協力して行動し、時には意見の対立も生まれます。教員はここではあえて何も言いません。子どもたち自身で納得できるまで考え方話し合うことで、解決する力を伸ばします」。

また、立命館小学校では放課後の課外活動として「立命館小学校アントレプレナーシッププログラム（以下、課外プログラム）」を実践し、児童たちにさまざまな体験をさせる学習に取り組んでいます。こちらも正頭先生が指導にあたっています。

「自分のがつてみたいことをかなえていこう」という探究プログラムについています。有志で集まった6年生12名が、それぞれ自分で決めたテーマを

曲に研究します。例えば『ボタン1個で家を建てたい』という児童がいました。それを否定するのではなく、建てるためにはどうしたらしいのかを一緒に探究していきます。実際には、マイクラフト上に家を作り、3Dプリンターで出力して小さな家を建てることができました。このような体験をした子どもたちは、『とりあえずやってみよう』のハードルがかなり下がり、行動するまでのスピードが速くなります。そこがこの学習の大きなポイントです。アントレプレナーシップ教育というと起業マインドの育成といったイメージがありますが、私はこのプログラムを通して、子どもたちに人生を楽しむ術を身に付けてほしいと考えてい



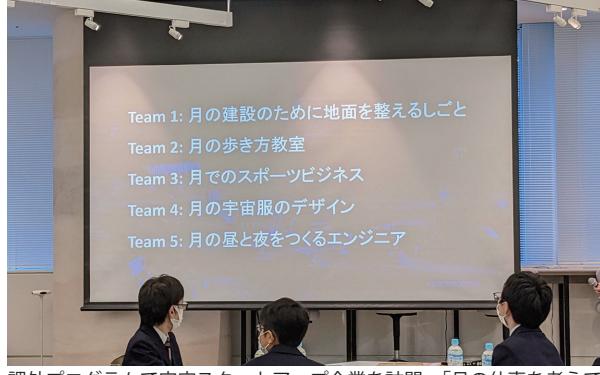
グローバルティーチャー賞に選出された、マイクラフトを活用した英語の授業。「英語に対するハードルが大きく下がることが最大の特徴です」。現在はICT科で行われている

小学生受けます」正頭ける重
「私 ちや好 とをか
います とは、 試して
り、こ 体験を
が喚起 いこと
お金の

小学生が金融教育を受ける重要性とは

正頭先生は、小学生が金融教育を受ける重要性についてこう話します。

「私は『子どもたちの挑戦する気持
ちや好奇心を奪わず、やってみたいこ
とをかなえる教育』を教育理念にして
います。子どもたちのやってみたいこ
とは、『調べてみたい！作ってみたい！
試してみたい！』の三つの欲求からな
り、これらをかなえる中でさまざまな
体験をし、知識を得て、新たな好奇心
が喚起されます。そして、やってみた
いことを阻害する要因の一つとして、
お金の問題が立ちはだかることがとて



課外プログラムで宇宙スタートアップ企業を訪問。「月の仕事を考えてみよう」というお題に児童たちはさまざまなアイデアを出し、「月の宇宙服のデザイン」が1位に選ばれた
(出所) <https://ririx.com/archives/20221220/>

「お金ありきではなく、まずやってみたいことがあることがあって、そこにお金の問題があることを知り、それを解決することでやってみたいことをかなえる。これを『課題解決型の金融教育パッケージ』のようにして、子どもたちにさまざまな体験をさせることで学びを深めていけばと考え、課外プログラムで実践することにしました」。

課外プログラムで実践した最初の金融教育は、「10万円をもらつたら何に使う?」を考えさせる活動でした。そこで正頭先生は、小学生が金融教育を学ぶもう一つの重要性を感じたと言います。

多いです。例えば、留学したい、大学に行きたい、でもお金の問題であきらめてしまうことは少なくないと思いります。そこで奨学金制度を知っていたら、選択肢が増えたかもしれません。クラウドファンディングを知っていたら、あきらめなくてよかつたかもしれません。お金の問題を解決できれば、やつてみたいことをかなえられる可能性が断然高まり、人生を楽しめる可能性も広がります。そこに、小学生に限らず子どもたちが金融教育を受ける意義や重要性があると思います」。

正頭先生は金融教育に取り組むにあたり、これまでと同様に子どもたちがやってみたいことを一番に考えました。



課外プログラムで自動運転ロボットなどを展開する企業を訪問。くるくる表情が変わる自動運転1人乗りロボに試乗。「病院や老人ホームで使ったらよいと思う」という児童の声も
(出所) <https://r-rimix.com/archives/20221220/>

「子どもたちが考えた10万円の使い方を消費、浪費、貯金、投資の四つに分類したところ、浪費と貯金しかありませんでした。小学生なので、家賃や光熱費といった消費の考え方を発想できないのは仕方ないですが、10万円を20万円に増やすというような投資の発想を持った児童が1人もいない。『20万円に増やしたいと思わない?』の問い合わせに答えて『そんなことしていいの?』と答えるのを聞いたとき、子どもたちのお金に対する固定観念といふのを痛感しました。日本では、お金は汚いもの、お金をたくさん稼ぐことは悪いこと、お金は貯めるもの、そういう

正頭先生は金融教育に取り組むにあたり、これまでと同様に子どもたちがやってみたいことを一番に考えました。

たことを言われることが多いです。お金は汚いものでもきれいなものでもなく、単なる道具。でもやつてみたいことをかなえるためには、お金を無視できないことが多い。お金の使い方によつて、自分の未来も人との関わり方も変わつてくる。お金の学びはデリケートなので注意は必要ですが、消費、浪費、貯金、投資という考え方をきちんと教えて、選択肢を増やしてあげることはとても重要です」。

実践活動による児童たちの具体的な体験学習内容

小学生が金融教育を学ぶ入り口は、「稼ぐ」や「投資」がよいと正頭先生は言います。

「お金とは何か」のような学習は、



1万3,000名超の来場者でにぎわうフェスタに、児童たちは「キャンバススクエスト～怪盗と6つの秘宝～」という謎解きイベントでブースを出店。謎の考案、広報、デザイン、会計、総指揮を12名が役割分担して運営した



「お金を払ってもらうので、子どもでも簡単にできるけど面白い謎を頑張って作った」と児童たちが言う謎解きイベントは、1回200円。自作のパンフレットを使って、自分たちでお客さんにルールを説明する



お客様の足が途絶えると、自作の看板を持って人混みの中へ呼び込みに。「最初は少し恥ずかしかったけど、『どこでやってるの?』と興味を持ってもらえるとうれしかった」。児童たちの努力が実り黒字を達成した

小学生が興味を持ちづらく、次の展開につなげにくいように思います。『稼ぐ』や『投資』のような題材は、小学生でも興味を持ちやすく、面白がつてお金について積極的に知ろうとします。展開も広がりやすく、例えば投資なら『習い事も投資なんだよ』と展開することで、自己投資の考え方も学ばせることができます」。

実際に正頭先生は、ゲームを使つた投資の学習を課外プログラムで実践しました。

「四つの会社のうち、どの会社の値段が上がるかを予測して投資するゲームで、『この後値段は上がる?下がる?』の問い合わせに、まずは勘で答えさせます。ギャンブルのように感じた子どもたちに、『リスクはあるけど世

の中の流れや情報から考えることで、より正確に予測できるんだよ』と教えることにつなげます」。

「お金は、増えた・減ったの結果がわかりやすいものだから、『くやしい!』とか『やつた!』とか夢中になつっていました。楽しい体験だったから測できるのか興味を持ち、自分から『知りたい!』や『試したい!』と意欲的に学ぶ大きな動機づけになつたと思います」。

また、正頭先生は児童たちの三つの欲求「調べてみたい! 作つてみたい! 試してみたい!」のほかに大きな欲求があることに気づき、それをかなえる金融教育の実践授業にも取

り組み始めました。

「子どもたちに何をしたいか書かせるたびに、『商売してみたい!』という声がとても多いんです。小学校でお金を実際に扱う授業を実践するのは、ハーダルがかなり高いのですが、地域で行われる大きなイベント『びわこ・くさつ健幸フェスタ(2023年11月開催)』の会場が立命館大学のキャンパスということもあり、そこにブースを出して子どもたちが商売を体験できることになりました」。

この商売体験での子どもたちへの課題は、学校から出た予算10万円を1円でも黒字にして返済すること。正頭先生はこの体験が、児童たちの借金に対するマインドセットを変える機会になればと考えました。

「これは子どもたちにとって初めての借金体験です。最初に10万円の使い方について話し合いをさせると『借金はよくないから使わない今までよいのでは?』、『使わずに1円でも稼げば僕らの勝ち!』といった貯めておこう的な発想ばかりでした。その後、子どもたちからいろいろやったことが出てきて、それらはどうやつたらかなえられるかをみんなで考えていくと、何をするにもお金がかかるということが見えてきます。子どもたちの中で借金のイメージが、

悪いものから必要なものに変わつていく過程です。借金にはだめな借金もあれば、融資のように必要な借金もあることを認識させ、借りた10万円を使うからこそ稼げるチャンスがあることを体験させる。その体験によって借金の考え方を正しく理解し、偏りがちな借金に対するマインドセットを多少でも変えられればと思っています」。

商売体験の実施内容は児童たちがいろいろ案を練った末、謎解きイベントに決まり準備を行いました。その間、正頭先生はなるべく手を出さないようにしています。

「食品を売ることは難しいので何か物を作ろうとしましたが、自分たちのスキルでは販売できる物を作れないとわかり、『体験を売ろう!』という案が出て謎解きイベントに決まりました。会場を巡りながらいろいろな謎を解いていくスタンプラリーのようなものです。子どもたちは自分たちのやつてみたいことがかなえられることにワクワクしながら、謎解きを作るプロから作り方を聞いたり、作った謎解きイベントを自分たちで仮体験したりと、主体的に準備を進めました。こうした体験学習において、私の役割は、子どもたちがやつてみたいことをかなえる環境をできるだけ整えることだけで、基本的にはリクエストがない限り手を出しません。困難も失敗も成功も、子どもたちにとって欠かせない体験ですから」。



2023年1月にリリースしたゲーム「桃太郎電鉄教育版」を監修。自ら考える力を養うアクティブラーニング型教材。プレー時間の制限や対象地域の選択が可能、貧乏神は登場しない、さまざまな端末から使えるWEBブラウザ版とするなど、授業で使いやすい設計としている



2022年4月に金融機関よりリリースしたアクティブラーニング型金融教育プログラムを監修。「導入、貯金、借金、投資、稼ぐ、金融トラブル、奨学金」の七つのプログラムで構成

エンターテイメントを教材開発に活用する エデュテイメントの学習効果

正頭先生は学校外でもさまざまな教育活動を行つており、子どもたちが夢中になれる教材を数多く開発しています。教材開発のきっかけについて、正頭先生はこう話します。

「日本の教育は遅れている、というような声をよく耳にしますが、グローバルティーチャー賞のトップ10に選ばれたとき、同じく選ばれたほかの国の先生方の模擬授業を見て、日本の先生方が行つている教育の内容は素晴らしいと改めて実感しました。教材開発の根底にあるのは、メイドインジャパンの教育を具現化することで、日本の教育レベルの高さを証明したいという気持ちです」。

正頭先生がさまざまな企業と連携して手がけた教材は「桃太郎電鉄教育版の監修」、「高校生向け金融教育プログラムの監修」、「中高生向け企業訪問事前事後学習教材の共同開発」などがあげられます。学習対象者や学習内容は多岐にわたりますが、どれも主体的な学習を育成するアクティブラーニング型になっています。

「エンターテイメントが溢れる時代に生きる今の子どもたちは、極端に言え

ば、楽しくなければ自ら行動しません。子どもたちが主体的に学ぶためには、夢中になるくらい楽しめる教材が必要です。そのためにはエンターテイメントを活用するなど、遊ぶように学ぶ学習方法『エデュテイメント』が効果的と考えており、教材開発に限らず授業を組み立てるうえでも重要視しています」。

金融教育は子どもたちがやりたいことをかなえるために 避けて通れない学び

ICTやゲームを活用した課題解決型学習、エデュテイメントを組み込んだ教材開発など、これまで取り組んださまざまな教育活動を通して、正頭先生は金融教育についてこう語ります。

「金融教育は子どもたちがやつてみたいことをかなえるための手段であり、避けて通れない学びであると、改めて実感しています。日本の教育の未来を明るくする大きな役割を担つていると言つても過言ではありません。小学校の段階からもつと金融教育に取り組み、浸透させる必要性を感じます。そして私は今後も、子どもたちの好奇心や挑戦したい気持ちにフォーカスし、子どもたちに世の中や人生をもつともっと楽しんでもらえるように、前めりになるくらい楽しい体験を提供していきたいと思います」。



動画講座 「マネビタ～人生を豊かにするお金の知恵～」
NISA・確定拠出年金の講座を拡充してリニューアル

官庁や業界団体の夢のコラボ

専門家から学ぶ お金の基本
- 初心者でも安心 -

講師はお金の
専門家

講座は全て
無料
FREE

1つの講座
15 min



学生・社会人
すべての方向け

詳細はこちらから



「マネビタ」は、金融経済教育に関わる専門家による金融リテラシー講座です。中立公正な視点から所管官庁や業界団体のスペシャリストがわかりやすく解説しています。このほど、NISA・確定拠出年金の講座の内容をより充実させてリニューアルしました。

「マネビタ」ではお金に関する6分野の講座を用意しています

- ＊ 金融と経済を学ぶ
- ＊ ライフプランを描く
- ＊ お金を借りる
- ＊ お金を増やす
- ＊ リスクに備える
- ＊ トラブルを避ける

お金の勉強、動画で気軽に
はじめませんか

金融経済教育推進会議 (事務局: 金融広報中央委員会<日本銀行情報サービス局内>)

先生のための金融教育セミナー

2月29日(木)まで配信中!

教員向け

金融教育のヒントとなる動画を、いつでも、どこからでも、ご視聴いただけます！

詳細はこちらから
<https://www.sensei2023.jp/>



市川操氏
高等学校 教諭



今井一馬氏
小学校 副校長



高岡政晴氏
小学校 教諭



米田謙三氏
高等学校 教諭

オンデマンド配信
無料



正頭英和氏
立命館小学校 教諭



小野由美子氏
東京家政学院大学 教授



大河内薫氏
税理士



神山久美氏
山梨大学大学院 教授



山本由里氏
日本経済新聞社 編集委員



安田洋祐氏
大阪大学大学院 教授

主催: 金融広報中央委員会

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住 所	連絡先
北海道金融広報委員会	060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011-241-5314
青森県金融広報委員会	030-8570	青森市長島1-1-1	017-734-9209
岩手県金融広報委員会	020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019-624-3622
宮城県金融広報委員会	980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-2523
秋田県金融広報委員会	010-0921	秋田市大町2-3-35	018-824-7814
山形県金融広報委員会	990-8570	山形市松波2-8-1	023-630-3237
福島県金融広報委員会	960-8614	福島市本町6-24	024-521-6355
茨城県金融広報委員会	310-8639	水戸市南町2-5-5	029-224-2734
栃木県金融広報委員会	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2151
群馬県金融広報委員会	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-226-2273
埼玉県金融広報委員会	333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティA1街区2F	048-261-0995
千葉県金融広報委員会	260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043-225-7141
東京都金融広報委員会	103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03-3277-3788
神奈川県金融広報委員会	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	045-534-3014
山梨県金融広報委員会	400-0032	甲府市中央1-11-31	055-227-2419
長野県金融広報委員会	380-0936	長野市岡田178-8	026-227-1296
新潟県金融広報委員会	951-8622	新潟市中央区寄居町344	025-223-8414
富山県金融広報委員会	930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076-424-4471
石川県金融広報委員会	920-8678	金沢市広岡3-3-12	076-223-9519
福井県金融広報委員会	910-8532	福井市順化1-1-1	0776-22-4495
岐阜県金融広報委員会	500-8570	岐阜市薮田南2-1-1	058-213-9257
静岡県金融広報委員会	420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054-273-4112
愛知県金融広報委員会	460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052-954-6603
三重県金融広報委員会	514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059-246-9002
滋賀県金融広報委員会	520-8577	大津市京町4-1-1	077-528-3412
京都府金融広報委員会	604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル一之船入町535	075-212-5193
大阪府金融広報委員会	530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06-6206-7748
兵庫県金融広報委員会	650-0034	神戸市中央区京町81	078-334-1129
奈良県金融広報委員会	630-8122	奈良市三条本町8-1 シルキア奈良2階	0742-33-5454
和歌山県金融広報委員会	640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073-426-0298
鳥取県金融広報委員会	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7160
島根県金融広報委員会	690-8553	松江市母衣町55-3	0852-32-1509
岡山県金融広報委員会	700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086-227-5128
広島県金融広報委員会	730-0011	広島市中区基町8-17	082-227-4268
山口県金融広報委員会	753-8501	山口市湊町1-1	083-933-2608
徳島県金融広報委員会	770-8570	徳島市万代町1-1	088-621-2258
香川県金融広報委員会	760-0023	高松市寿町2-1-6	087-825-1104
愛媛県金融広報委員会	790-0003	松山市三番町4-10-2	089-933-6308
高知県金融広報委員会	780-0870	高知市本町3-3-43	088-822-0114
福岡県金融広報委員会	810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092-725-5518
佐賀県金融広報委員会	840-0815	佐賀市天神3-2-11 アバンセ3階	0952-25-7059
長崎県金融広報委員会	850-8645	長崎市炉原町32	095-820-6112
熊本県金融広報委員会	862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096-383-2323
大分県金融広報委員会	870-0023	大分市長浜町2-13-20	097-533-9116
宮崎県金融広報委員会	880-0805	宮崎市橋通東4-3-5	0985-23-6241
鹿児島県金融広報委員会	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-2544
沖縄県金融広報委員会	900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098-863-9212

くらし塾 きんゆう塾

2024
vol.67

令和6年1月発行

編集・発行：金融広報中央委員会

編集協力：株式会社文化工房

©金融広報中央委員会

禁無断転載

編集後記

『くらし塾 きんゆう塾』は今号をもって休刊致します。これまで、読者の皆さまからいただいたお便りを毎回楽しみに拝読してきました。心温まるエピソードも、鋭いご指摘も、ユニークなペンネームも、それぞれの方のご経験やお人柄がにじみ出ているようでした。どのような方が貴重な時間を割いて目を通し、お便りを書いてくださったのだろうとたびたび想像を膨らませておりました。長い間ご愛読いただき、誠にありがとうございます。今後も、お金や金融経済教育にかんする役立つ情報を、全国の皆さまにお届けできるよう努めてまいります。

※本誌は全国の金融広報委員会でお配りしています。個人の方の定期購読は行っておりませんのでご了承ください。
※なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るばると」WEBサイト上に掲載していますのでご利用ください。

<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/kurashijuku/>

『くらし塾 きんゆう塾』のバックナンバー

「**知るぽると**」のWEBサイトでご覧いただけます。<https://www.shiruporuto.jp/>

vol.66 2023年[秋号]

インタビュー

森 公美子さん

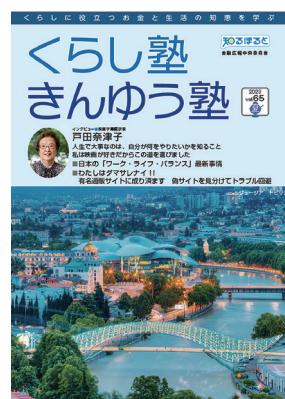
教えて! 知るぽると

2024年からNISA制度はどう変わる?

マンガ「わたしはダメサレナイ!!」

強引な勧誘や解約の妨害、高額なキャンセル料など
中古自動車の売却トラブルが増加中

金融教育の現場レポート

~商業科と連携した英語科による金融教育~
日本と諸外国の医療保険制度を比較して
社会の仕組みを学ぶ

vol.65 2023年[夏号]

インタビュー

戸田奈津子さん

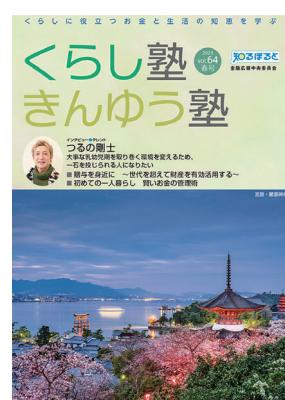
そこが知りたい くらしの金融知識

日本の「ワーク・ライフ・バランス」最新事情

マンガ「わたしはダメサレナイ!!」

「商品が届かない」、「事業者と音信不通」、「個人情報を盗用」
有名通販サイトに成り済ます偽サイトを見分けてトラブル回避

金融教育の現場レポート

~起業体験学習に向けて~
社会科を軸とした教科等横断カリキュラムで
未来を切り開く力を育成

vol.64 2023年[春号]

インタビュー

つるの剛士さん

教えて! 知るぽると

贈与を身近に

一世代を超えて財産を有効活用するー

そこが知りたい くらしの金融知識

初めての一人暮らし

賢いお金の管理術

マンガ「わたしはダメサレナイ!!」

管理会社からの紹介を装ったり、点検を口実に売り込む!

新生活を狙った悪質な訪問販売に注意

知るぽると金融広報中央委員会
(事務局 日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会って?

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。

そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。

そんな思いで活動しているのが、

「**知るぽると**」の金融広報中央委員会。

日本銀行の中に事務局のある、中立・公正な団体です。

「**知るぽると**」は金融広報中央委員会の愛称です。

くらしに役立つ身近な知恵・知識の「港：Porto」「入り口」です。

新着情報配信中!

フォローをお願いします!

Facebookページ



X (旧 Twitter) 公式アカウント

